南箕輪村むらづくり委員会（第 23 回）会議録

令和 7 年 9 月 2 日（火）

午後 7 時～午後 8 時 30 分

出席報告【出席者 計 23 名】	
むらづくり委員会 （18 名）	山岡　勉　委員 長谷川　義隆　委員 加藤　直樹　委員 高木　武　委員 唐木　茂人　委員 酒井　きよみ　委員 清水　真知子　委員 清水　克俊　委員 足立　芳夫　委員（会長） 田口　和弘　委員 小椋　信子　委員 新村　典久　委員 千　菊夫　委員 富岡　順子　委員 橋場　麻衣子　委員 松田　聖一　委員（職務代理） 原　和彦　委員 三澤　聡　委員
事務局（3 名）	地域づくり推進課長 高橋 地域づくり推進課 企画係長 北原 地域づくり推進課 企画係 小澤
オブザーバー（2 名）	株式会社プロジェクトデザイン 大槻 株式会社プロジェクトデザイン 塩原
欠席者（10 名）	伊久間　美昭　委員 伊澤　武善　委員 北原　泰司　委員 菅家　美果　委員 平野　幸代　委員 入倉　眞佐子　委員 宮坂　大樹　委員 井口　千鶴　委員 吉川　つづり　委員 稲生　正徳　委員

1．開会　　**会長代理**

2．会長あいさつ　　**足立会長**

9 月に入ったが暑さがまだまだ続く様子で秋の味覚にも影響があると聞く。いよいよ第 6 次総合計画前期計画や人口ビジョン、創生総合戦略のまとめに入っていく。本日も盛りだくさんの内容であるが、引き続きご審議いただくようお願い申し上げる。

3．協議事項

（1）第 6 次総合計画前期計画（案）について　**事務局より説明**

意見等、なし

（2）南箕輪村人口ビジョン（案）について　**事務局より説明**

【質疑応答】

（委員）P10 に記載のある「2025 年に社会増減が均衡すると仮定」という前提は、現状で正しいものなのか。県が 2022 年に策定した将来人口を基にしているとなると、現状と乖離がある可能性があるのではないか。

（事務局）県の出典確認も含め、検証する。

（委員）P20 に女性の有配偶率の比率を載せているが、時代錯誤ではないだろうか。載せるなら男性のデータも載せるべきではないか。

（事務局）男性データもある。もし載せるべきであるなら掲載したいと思うがいかがか。

（委員）女性 1 人で子どもを産み育てているわけではないので、載せるなら載せるべき。

（委員）女性の有配偶率データを載せることで、何を伝えようとしているのかが分からない。）長野県平均を上回っているというデータを載せているのか、それで何を示しているのか。

（委員）女性データを多く載せて少産であることを述べているが、誘導のように見える。この問題は男性の長時間労働など様々な問題があるはず。一部のみ触れていないのはどうかと思う。

（事務局）日本では婚外子が少ないことを踏まえての考察であったが、再検討したい。

（委員）女性の有配偶率データは無くても良いと考える。有配偶率の推移やその他の要因を考え出すと広がりすぎてしまう。

（委員）男性の有配偶率を載せることは賛成。ただ、単に載せるだけでなく、将来展望のまとめにも反映するところまでつなげることが必要と考える。

（会長）男性の有配偶率について、掲載するならその点についての分析や記載が必要と考える。事務局で検討いただきたい。

（事務局）検討する。

（委員）人口動態について、信州大学の学生のことが載っているが、これは根拠としても良いものか。

（事務局）村の大きな特徴として信州大学農学部が存在しており、その影響が大きく寄与している。

（3）南箕輪村創生総合戦略（案）について　**事務局より説明**

【質疑応答】

（委員）「教育環境の充実」について、過多になっている傾向がある。教員の働き方も大事。教員の労働時間削減なども盛り込んだら良いのではないか。

（委員）キャリア教育についても触れられているが、何がキャリア教育に当たるのかはまちまちである。「教育内容の充実」については指標の見直すのが良いのではないだろうか。
（事務局）検討する。
（委員）KPI は EBPM においても重要な指標となる。コンサルが入っているが、KPI に関しては関わっているのか。
（事務局）KPI は前例もベースにして修正している。KPI を何にするのかなどコンサルは関与しておらず、事務局で検討しているものになる。

（4）その他
特になし

4．その他
今後について　**事務局より説明**

5．閉会　　**会長代理**